

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人ながのコロニー

社会福祉法人ながのコロニー 令和4年度 事業報告書

○ 利用者数の状況

- ・ 入所利用者数は、前年度と比較して2人減少した。2人はいずれも他の施設への入所による退所であった。
- ・ 通所利用者数は、前年度と比較して3人減少した。新規に利用を開始した方が1人あったが、4人が退所で減少した。
- ・ グループホームは、せはらだの利用者が1人減少した。
- ・ 長野福祉工場就労継続支援A型の利用者は、印刷3人、縫製1人を採用し、印刷2人、縫製2人が退職した。

(単位:人)

区 分		定 員	R4.3.31 現在	入 所	退 所	R5.3.31 現在
ワークサポート 篠ノ井	施設入所支援	20	21		1	20
	生活介護	40	45	1	4	42
	就労継続支援B型	20	17	2	2	17
ハートフル五明	施設入所支援	40	23		1	22
	生活介護	40	24		1	23
はあてい若槻	生活介護	16	12			12
	就労継続支援B型	25	27	1	1	27
地域生活支援 センター	共同生活援助	12	7		1	6
長野福祉工場	就労継続支援A型	40	36	4	4	36
計		253	212	8	15	205

○ 職員の状況

- ・ 長野福祉工場では、利用者以外の職員の退職者2人に対して採用がなかった。
- ・ 長野福祉工場以外では、R4.4.2以降R5.4.1までの間に、退職者8人に対し10人採用した。

(単位:人)

区 分	R4.4.1 採用	R4.4.1 現在	4.2～ 3.31 採用	人事 異動 (内部)	4.1～ 3.31 退職	R5.4.1 採用	R5.4.1 現在
総務部	1	6					6
ワークサポート篠ノ井	1	17			△1	1	17
ハートフル五明		18	1	1	△2	1	19
はあてい若槻		15			△1		14
あいくる		1					1
すまいる		7	3	△1	△3	2	8
地域生活支援センター		4	2		△1		5
長野福祉工場		28			△2		26
長野福祉工場(利用者)	1	37	3		△4	2	38
計	3	133	9	0	△14	6	134

※兼務は、主たる事業所で人数に入れる。ワークサポート篠ノ井は、理事長含む。

※4.1 現在の人数には、R4 と R5 それぞれ 4.1 付け採用数が含まれている。

○ 経営概況

- ・ 令和4年度は、入所施設の一元化に向けて、入所募集を控える中でワークサポート篠ノ井の利用者が減少した。
- ・ ワークサポート篠ノ井は、利用者の減少と新型コロナウイルス感染症の集団感染（クラスター）の発生による作業縮小等の影響を受け、障害福祉サービス等事業収益が減収となり、加えて、原油高騰による電気料金や灯油代金など費用の増加により、当期活動増減差額は前期比 1,347 万円減少し、前期の黒字から一転 884 万円の赤字となった。
- ・ ハートフル五明は、利用者数は前期比横ばいで推移したものの、利用者の高齢化に伴って重度化が進む障害の区分を見直した結果、障害福祉サービス等事業収益は増収となり、費用の増加を吸収して、当期活動増減差額は前期比 1,231 万円増加し、前期の赤字から 278 万円の黒字となった。
- ・ はあてい若槻は、利用者数、障害福祉サービス等事業収益が微増となり、費用の増加があったが、当期活動増減差額は、181 万円の黒字を維持した。
- ・ 長野福祉工場の印刷事業、縫製事業の就労支援事業収益は、前期比 2,371 万円増収となり、また、障害福祉サービス等事業収益は、前期比 322 万円の増収となったことにより、サービス活動収益は前期比 2,645 万円の増収となった。サービス活動費用は労務費、材料費が増加したが、増収が費用増を上回ったことにより、サービス活動増減差額は前期比 592 万円の増益となり、当期活動増減差額は前期比 524 万円増加の 1,362 万円の黒字を確保した。
- ・ 各拠点区分間の繰入・繰出では、ワークサポート篠ノ井、ハートフル五明、はあてい若槻、地域生活支援センター(グループホーム)、すまいるから、本部とあいくるへ繰り出した。
- ・ 法人全体として、就労支援事業収益は前期比 2,408 万円、障害福祉サービス等事業収益は 568 万円増収となり、費用は人件費の増、光熱水費などの諸物価高騰の影響を受け増加したが、事業所別では長野福祉工場の増収増益が決算に反映され、当期活動増減差額は、前期比 10 万円増益の 1,343 万円の黒字となった。

I 法人本部（総務部）

- 1 社会情勢や利用者ニーズの変化への対応
 - ・ 行政からの通知、各種出版物、報道、法人事業の統計などの情報を収集し、利用者の意向に対応したサービスの提供に努めた。
 - ・ 収支動向を注視し、経営基盤の安定化に努めた。
- 2 感染症や災害の対策

- ・ 新型コロナウイルス感染症への対策として、マスク着用、体温測定、手指消毒、3密回避を継続するとともに、嘱託医の協力を得て、篠ノ井施設において入所者へ新型コロナウイルスのワクチン接種を2回実施した。
- ・ 国から配布された新型コロナウイルス感染症抗原検査キットを活用し、陽性者の早期発見による感染拡大防止のため、必要に応じて検査を実施した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の全国的なまん延により、高齢者施設等において集団感染(クラスター)が頻繁に発生している状況下、感染予防に努めていたが、11月2日から11月23日にかけて、篠ノ井施設の利用者13人、職員12人が感染するクラスターが発生した。
- ・ 5月17日 篠ノ井施設、5月18日 はあてい若槻及び長野福祉工場の春季防災訓練を実施した。
- ・ 10月12日 篠ノ井施設、19日 はあてい若槻、長野福祉工場及びうわのほ～むの秋季防災訓練を地元防災役員の参加を得て実施した。
- ・ 10月18日 さいなみほ一む及びグループホームせはらだの防災訓練を実施した。
- ・ 篠ノ井施設において、伝達用メーリングリストを活用し、緊急時の連絡訓練を実施した。
- ・ インフルエンザ対策として、希望する利用者及び職員に対し、集団接種を行うとともに、予防接種者への補助金を引き続き交付し、接種を勧奨した。

3 地域住民との交流機会の拡大

- ・ 新型コロナウイルス感染症予防のため、篠ノ井施設のコロニー祭、若槻施設のコロニーまつりを中止した。外部の人は招かずに代替行事として、納涼・七夕週間、ハロウィンウィークなどを開催した。また、外出がなかなかできない中で、テイクアウトによるハンバーガー、スイーツの提供等により、入所者や利用者の気分転換を図った。
- ・ 広報誌ながのコロニー第20号、第21号を発行した。
- ・ 法人のホームページを随時更新して、情報を発信した。

4 健康で働きやすい職場環境

- ・ 職員を対象に定期健康診断とストレスチェックを実施し、心身の健康づくりや活気ある職場づくりに取り組んだ。
- ・ 新規採用職員を対象とした雇入時健康診断、深夜業務従事職員を対象とした特定業務従事者健診、パートタイム勤務職員を対象とした結核健診(胸部 X 線健診)を実施した。
- ・ 安全衛生委員会及び衛生委員会を開催し、職場巡視等を行った。
- ・ ハラスメント研修及びメンタルヘルス研修を実施した。また、ハラスメントの初期段階で迅速かつ適切に相談対応を行うため、ハラスメント対応マニュアルを整備した。
- ・ 道路交通法の改正に伴うアルコールチェック義務化などに合わせ、車両管理規定の一部改正を行い、アルコールチェッカーを導入して対応した。

5 職員の資質向上

- ・ 職員研修実施要領に基づき、研修会・講習会への参加と職場研修を実施した。外部研修については、オンライン研修中心に実施した。
- ・ ゼンコロ加盟法人との連携や活動への協力を行った。

6 長期的かつ安定的な人材確保

- ・ 入所事業一元化を見据え、適材適所・適正人員の配置を行いつつ、欠員補充のため、新卒を採用(R5. 4. 1 付採用 2 名)した。
- ・ 県の最低賃金の時間額の引き上げに伴い、パート職員の賃金の一部及び長野福祉工場職員の基本給を引き上げ、また、嘱託職員の給料表を改正して、給与月額を引き上げた。
- ・ 非正規職員の能力を有効に発揮させ、事業を発展させるため、正規職員転換を募集したが、応募がなかった。
- ・ 令和 5 年 4 月 1 日及び 10 月 1 日施行の育児・介護休業法の改正に合わせ、育児・介護休業等に関する規則の整備を図った。
- ・ 次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画（第 5 回）を策定した。

7 理事会・評議員会

理事会を 5 回、評議員会を 3 回開催した。詳細は、令和 4 年度会議・行事及び研修会等経過報告書のとおり

8 監事監査

現金監査、決算監査及び中間監査を実施した。詳細は、令和 4 年度会議・行事及び研修会等経過報告書のとおり

9 設備投資（法人全体に及ぶもの）

（単位:円）

購入設備	数量	単価	金額	備考
パソコン更新、リース(5 年)契約	1 式	2,118,600	2,118,600	デスクトップ PC7 台 ノートブック PC20 台
beat/active 更新 (ネットワークセキュリティ)	1 式	796,400	796,400	beat/active 移行(ネットワーク) Working Folder(ファイル共有) 構築
ネットワーク機器更新(L2/L3)	1 式	1,415,150	1,415,150	
電話機・ナースコール設備更新 及び Wi-Fi 設備設置	1 式	10,439,000	10,439,000	デジタル交換機、多機能型電話 機 17 台、PHS 端末 33 台 PHS アンテナ 17 か所、Wi-Fi アクセ スポイント 17 か所ほか
ワークサポート篠ノ井入所施設 居室の LED 照明器具導入	1 式	1,198,331	1,198,331	42 灯
ハートフル五明入所施設居室 の LED 照明器具導入	1 式	1,141,261	1,141,261	40 灯

10 その他

- ・ 長野県から社会福祉施設等価格高騰対策支援金 2,402 千円の交付を受けた。
- ・ 長野県の社会福祉施設等エネルギーコスト削減促進事業補助金 1,595 千円の交付を受けた。
- ・ 長野市新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業補助金 1,261 千円の交付を受けた。
- ・ 令和 5 年 10 月から開始されるインボイス制度へ対応するため、準備を進めた。
- ・ 8 月 22 日に長野福祉工場、26 日に篠ノ井施設、はあてい若槻に対し、長野労働基準監督署の臨検があり、勤怠管理の改善や 5 月 30 日に発生した労働災害に関連し、その再発防止策等について、是正・改善報告を行った。
- ・ 8 月 31 日にはあてい若槻、12 月 19 日にグループホーム、12 月 19 日、21 日、23 日に篠ノ井施設に対し、長野市の一般指導監査があり、給付費の過誤請求等のほか、市の指摘事項に対し、事務の是正改善状況報告を行った。

II ワークサポート篠ノ井 障害者支援施設

【利用者数】

区 分	定 員	計 画	実 績
施設入所支援	40 人	20 人	20.1 人
生活介護	40 人	46 人	43.2 人
就労継続支援 B 型	20 人	20 人	17.0 人
短期入所	2 人	—	延べ 133 人
就労移行支援	休止中		

- ・ 新型コロナウイルス、インフルエンザの予防接種実施をはじめとする感染対策を行ったが、クラスターの発生を防ぐことはできなかった。

1 施設入所支援

- ・ これからの暮らし方の選択に資する情報提供に努めた。
- ・ 入所利用者に外出自粛などの新型コロナウイルス感染対策への協力を求めた。

2 生活介護

(1) 日中活動

- ・ 新たに長野県障がい者福祉センターの出張スポーツ教室を取り入れた。
- ・ 利用者の適性にあった生産活動を提供した。
- ・ 実習希望者を積極的に受け入れた。

(2) 生活面

- ・ 支援員・看護師・栄養士が連携し、健康管理に努めた。

3 短期入所

- ・ 入所施設への新型コロナウイルスの影響を避けるため、感染状況に応じた事業運営を行った。

4 就労移行支援 休止中

5 就労継続支援 B 型

(1) 生産活動

- ・ コロナ禍で利用者の休暇も増えたが、作業量を確保して工賃の維持に努めた。

(2) 生活面

- ・ 新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、安全に作業ができるように支援した。

6 保健

(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 予定どおり嘱託医の月 1 回の診察と年 1 回の結核検診、2 年に 1 回の心電図検査を行った。
- ・ 血液検査等各種検査を行った。

(2) 状況にあった支援

- ・ 高齢化や障害の重度化に伴う健康状態の変化を把握し、必要な支援を行った。
- ・ 生活習慣改善の必要性の啓発と疾病予防の支援を行った。
- ・ スキンケアが習慣になり、乾燥性皮膚炎等皮膚トラブルを早期に発見し、対応した。
- ・ 支援員・栄養士・看護師が情報を共有した。

(3) 口腔ケア

- ・ 歯科医院と文書で情報交換を行い、診療内容が把握できた。

(4) 感染症対策

- ・ 健康チェックを毎日行っていたため、感染症への早期対応ができた。
- ・ 新型コロナウイルスのクラスターを経験し、感染症対策の知識と発生時の対処について見直しを行った。
- ・ マスクを常時着用し、手洗い、うがい、アルコール消毒を徹底した。
- ・ 新型コロナウイルスワクチン等の有効性を理解してもらい、ワクチン接種を推奨した。入所利用者については、施設での集団接種を実施した。

(5) 医療ケア

- ・ ケアの目的と必要性及び外部専門家の助言等を支援員と共有し、安全確実に実施した。

7 給食

(1) 楽しく温かい食事

- ・ 嗜好や季節感を取り入れ、楽しく温かい食事を提供した。

(2) 身体状況による適切な栄養ケア

- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有し、療養食を提供するなど身体状況に合わせて個別に対応した。
- ・ 必要に応じて咀嚼や嚥下機能等に配慮した食事を提供した。

(3) 満足度の高い食事

- ・ 嗜好調査を兼ねた個別面談を実施した。
- ・ 選択食の日を設け、事前にメニューを掲示した。また、献立表や栄養情報を発信した。

(4) 感染症対策

- ・ 衛生管理の徹底を委託事業者に指示し、食中毒や感染症を防止した。
- ・ 新型コロナウイルスのクラスター発生時には、支援員・看護師・栄養士などと連携し、使い捨て食器への変更など円滑な対応を行った。

(5) 非常災害時対策

- ・ 備蓄品を定期的に確認し、期限前に備蓄水を新しいものにした。

8 レクリエーション・行事

- ・ 新型コロナウイルス感染症防止のためグループ行楽、納涼祭、コロニー祭、宿泊旅行は中止したが、納涼・七夕週間やハロウィンウィークの行事を実施した。

9 設備投資

(単位:円)

購入設備	数量	単価	金額	備考
パソコン更新	7台	1ヵ月 12,358	605,542	(事業所間で按分) リース、7ヵ月分
beat/active 更新 (ネットワークセキュリティ)	一式	—	114,290	(事業所間で按分)
ネットワーク機器更新(L2/L3)	一式	—	283,030	(事業所間で按分)
電話機・ナースコール設備更新 及び Wi-Fi 設備設置	一式	—	4,588,572	(事業所間で按分)
居室の LED 照明器具導入	一式	—	1,198,331	
シャワーチェア	1台	84,200	84,200	
洗濯機(居住棟)	1台	91,960	91,960	
乾燥機(居住棟)	1台	80,025	80,025	
便器更新(居住棟トイレ)	一式	191,400	191,400	故障のため
便器更新(作業棟トイレ)	一式	190,300	190,300	故障のため
スタッドレスタイヤ(エルフ)	一式	—	219,978	

10 利用者実績

【利用者数】

区分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所 支援	延べ利用者数	7,339人	7,752人	△413人	94.7%
	開所日数	365日	365日	0日	100.0%

	平均利用者数	20.1 人/日	21.2 人/日	△1.1 人/日	94.8%
	平均利用率	50.3%	53.0%	△2.7 割	—
生活介護	延べ利用者数	9,503 人	10,494 人	△991 人	90.6%
	開所日数	242 日	240 日	△2 日	100.8%
	平均利用者数	39.3 人/日	43.7 人/日	△4.4 人/日	89.9%
	平均利用率	98.3%	99.3%	△1.0 割	—
就労継続 支援B型	延べ利用者数	3,326 人	3,605 人	△279 人	92.3%
	開所日数	242 日	240 日	△2 日	100.8%
	平均利用者数	13.7 人/日	15.0 人/日	△1.3 人/日	91.3%
	平均利用率	68.5%	93.8%	△25.3 割	—
短期入所	延べ利用者数	133 人	443 人	△310 人	30.0%
	開所日数	365 日	365 日	0 日	100.0%
	平均利用者数	0.4 人/日	1.2 人/日	△0.8 人/日	33.3%
	平均利用率	20.0%	60.0%	△40.0 割	—

【売上高】

(単位:円)

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
生活介護	6,006,784	8,150,000	73.7%
		7,800,652	77.0%
就労継続支援 B 型	6,160,808	4,200,000	146.7%
		3,969,320	155.2%

【工賃】

(単位:円)

区 分		当期実績	前期実績	増減額	前期比
生活介護	総額	4,846,716	6,375,314	△1,528,568	76.0%
	平均月額	9,429	11,549	△2,120	81.6%
就労継続 支援 B 型	総額	4,860,323	3,374,121	1,486,202	144.0%
	平均月額	23,711	15,621	8,090	151.8%

Ⅲ ハートフル五明 障害者支援施設

【利用者数】

区 分	定 員	計 画	実 績
施設入所支援	40 人	24 人	22.8 人
生活介護	40 人	25 人	23.8 人

- ・ サービスの質の安定・向上のため、人材確保に努めた。
- ・ 継続的に内部研修を行い、人材育成のための環境を整えた。

- ・ 入所の一元化に向けてサービス提供体制の検討を続けた。

1 日常生活上の支援

(1) 介護

- ・ 利用者ニーズを把握し、ニーズに応じた、適切な介護サービスを提供した。
- ・ サービスの質を安定・向上させるために介護手順書を作成し、介護技術の標準化を図った。
- ・ 適切な介護技術で介護を行うため、法人外研修で学び、支援員間で技術伝達できるような環境を整えた。

(2) 入浴

- ・ 利用者ニーズに応じた介助機器（特殊浴槽等）の整備を検討した。
- ・ 入浴介助は週に2回以上を基本とし、必要に応じて清拭、シャワー浴、着替えを行い、清潔を保持した。

(3) 機能維持訓練

- ・ 口腔機能維持のため、毎朝の口腔嚥下体操を継続し、個別の口腔嚥下体操を実施した。
- ・ 医療機関の理学療法士と連携し、身体機能維持訓練を見直した。

(4) 通院付き添い

- ・ 日々のバイタルチェックや顔色など状態の変化に気を付け、看護師と連携して対応した。
- ・ 健康状態についてご家族に定期的に報告し、通院等の協力を依頼した。

2 日中活動の支援

- ・ 感染症対策を行い、小人数・短時間で取り組める日中活動を提供した。

3 保健

(1) 疾患の早期発見及び現病の悪化防止

- ・ 嘱託医の月1回の診察と年1回の結核検診、2年に1回の心電図検査を行った。
- ・ 血液検査等の各種検査を行った。
- ・ 協力指定医による歯科健診を年2回行った。

(2) 口腔ケア

- ・ 協力指定医による歯科健診を年2回行った。
- ・ 嚥下機能低下症の検査を行い、個々に合った口腔リハビリ体操を習得。誤嚥性肺炎の予防支援につなげた。

(3) 状況にあった支援

- ・ 高齢化や障害の重度化に伴う健康状態の変化を把握し、必要な支援をした。
- ・ スキンケアを習慣にし、皮膚トラブルや蜂窩織炎等の皮膚疾患を予防できた。
- ・ 支援員、栄養士、看護師が情報を共有した。

(4) 感染症対策

- ・ 新型コロナウイルス感染症のクラスターを経験し、知識や発生時の対処を見直すことができた。
 - ・ マスクは常時着用し、手洗い・うがいの徹底と、アルコール消毒を有効活用できた。
 - ・ 新型コロナウイルスワクチン等の有効性を理解してもらい、ワクチン接種を推奨した。
- (5) 医療ケア
- ・ ケアの目的と必要性及び外部専門家の助言等を支援員間で共有し、安全確実に実施した。

4 給食

- (1) 楽しく温かい給食
- ・ 嗜好や季節感を取り入れた食事とし、適時適温で提供ができた。
- (2) 身体状況による適切な栄養ケア
- ・ 支援員・看護師・栄養士が情報を共有できた。
 - ・ 療養食を提供ができた。
 - ・ 咀嚼や嚥下機能等に配慮した食事を提供し、むせや誤嚥性肺炎を予防できた。
 - ・ 食形態変更によって捕食を追加することで栄養量の低下を防止できた。
- (3) 満足度の高い食事
- ・ 嗜好調査を兼ねた個別面談が実施できた。
 - ・ 掲示板を活用した食情報の発信ができた。
- (4) 食中毒・感染症対策
- ・ 衛生管理を徹底し、感染症を予防できた
 - ・ コロナ発症時は初期段階から使い捨て食器へ切替えるなどの対応にスムーズに対処できた。
- (5) 非常災害時対策
- ・ 備蓄食品等については、定期的な確認により、期限切れ間近の備蓄水の入替えができた。
- (6) 委託業者との連携
- ・ HACCP の手法により食品衛生管理を徹底できた。
 - ・ 療養食、代替食等は個別に対応できた。
 - ・ 安全安心な食事作りに努め、業務手順の確認・見直しができた。

5 行事

- (1) 感染対策を行い、以下の行事を実施した。
- ・ 秋の行楽（施設内で焼肉）
 - ・ 納涼・七夕週間
 - ・ ハロウィンウィーク

6 設備投資

(単位:円)

購入設備	数量	単価	金額	備考
パソコン更新	5台	1ヵ月 8,827	61,789	(事業所間で按分) リース、7ヵ月分
beat/active 更新 (ネットワークセキュリティ)	一式	—	114,290	(事業所間で按分)
ネットワーク機器更新(L2/L3)	一式	—	283,030	(事業所間で按分)
電話機・ナースコール設備更新 及び Wi-Fi 設備設置	一式	—	4,588,572	(事業所間で按分)
居室の LED 照明器具導入	一式	—	1,141,261	
浴槽改修工事基本設計料	一式	—	1,320,000	
床走行リフト	一台	499,360	499,360	ロボット等導入支援 事業
平行棒	一台	323,400	323,400	

7 利用者実績

【利用者数】

区分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
施設入所支援	延べ利用者数	8,324人	8,273人	51人	100.6%
	開所日数	365日	365日	0日	100.0%
	平均利用者数	22.8人/日	22.7人/日	0.1人/日	100.4%
	平均利用率	57.0%	56.8%	0.2%	—
生活介護	延べ利用者数	6,266人	6,291人	△25人	99.6%
	開所日数	269日	269日	0日	100.0%
	平均利用者数	23.3人/日	23.4人/日	△0.1人/日	99.5%
	平均利用率	58.2%	58.5%	△0.3%	—

IV はあてい若槻 多機能型事業所

【利用者数】

区分	定員	計画	実績
生活介護	16人	12人	10.0人
就労継続支援B型	25人	27人	22人

- ・ 個別支援計画を基に必要なサービスを提供した。定期的に計画を見直した。
- ・ 利用者の日々の健康状態を確認し、コロナ下でも安定した開所に努めた。
- ・ コロナ下で職員研修を積極的に行う事ができなかった。

1 生活介護

- ・ 日々の生活が利用者にとって充実した内容となるように取り組んだ。
- ・ 生産活動は利用者のペースに合わせて作業を提供した。
- ・ 創作活動は利用者の要望を取り入れて行うように努力し、利用者の創作意欲を向上させることができた。
- ・ 月2回の音楽療法や、月1回のお話し読み聞かせ等外部講師を招いて実施する予定であったが、コロナウイルス感染の状況により、ほぼ中止となった。

2 就労継続支援B型

- ・ 利用者が日々の仕事にやりがいや達成感を感じられるよう支援しつつ、仕事の提供を行った。
- ・ 職員が意識し取り組んだため、利用者の作業技術の習得及び向上がなされた。
- ・ 安定した作業量と工賃を確保する努力をしたが、昨年同様コロナウイルスの影響を受けた。

3 保健

- ・ 利用者や職員の日々の様子や体調の変化に注意し、体調不良の場合は必要な対策を行った。
- ・ コロナ蔓延予防で確認票を配布し、日々のチェックと記録を行った。
- ・ 感染症に対する最新情報を共有し、予防に努めた。

4 レクリエーション・行事

- ・ コロナウイルスにより、宿泊旅行、コロニーまつり、忘年会を中止し、代替行事を行った。
- ・ 土曜レクリエーションは、コロナウイルスの感染状況により、ほぼ中止となった。

5 設備投資

(単位:円)

購入設備	数量	単価	金額	備考
パソコン更新	6台	1ヵ月 10,593	74,151	(事業所間で按分) リース、7ヵ月分
beat/active 更新 (ネットワークセキュリティ)	一式	—	114,290	(事業所間で按分)
ネットワーク機器更新(L2/L3)	一式	—	283,030	(事業所間で按分)
手すり	2ヵ所	702,900	702,900	廊下、食堂棟

6 利用実績

【利用者数】

区分		当期実績	前期実績	比較増減	前期比
生活介護	延べ利用者数	2,382人	2,427人	△45人	98.1%
	開所日数	242日	244日	△2日	99.2%

	平均利用者数	9.9 人/日	10 人/日	0.1 人/日	99.0%
	平均利用率	62.0%	62.5%	△0.5 割	—
就労継続 支援B型	延べ利用者数	5,324 人	5,021 人	303 人	106.0%
	開所日数	242 日	244 日	△2 日	99.2%
	平均利用者数	22 人/日	20.6 人/日	1.4 人/日	106.8%
	平均利用率	88.0%	82.4%	5.6 割	—

【売上高】

(単位:円)

区 分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
生活介護	207,164	642,000	32.3%
		225,156	92.0%
就労継続支援 B 型	4,982,671	4,549,000	109.5%
		4,253,047	117.2%

【工賃】

(単位:円)

区 分		当期実績	前期実績	増減額	前期比
生活介護	総額	188,337	204,692	△16,355	92.0%
	平均月額	1,308	1,421	△113	92.0%
就労継続 支援 B 型	総額	4,502,685	3,815,141	687,544	118.0%
	平均月額	14,385	13,674	711	105.2%

V 長野福祉工場 就労継続支援 A 型事業所

【利用者数】

区 分	定 員	計 画	実 績
就労継続支援 A 型	40 人	41 人	37.3 人

1 印刷事業

- ・ 売上実績 3 億 1,008 万円、加工高実績 1 億 5,617 万円
- ・ 障害者優先調達法・障害者多数雇用条件での受注は主に県外郭団体からの受注が増加し物件数は伸びたが、R3 年度に受注したコロナ対策関連の大口物件がなくなったため、売上金額は減少した。
- ・ 昇華転写作業担当者の異動があったため、新たな商品開発は行わず通常業務の遂行を優先した。
- ・ 営業課の人員不足により、前年度に比べて営業一人当たりの負担が増加し、研修に時間を割くことが困難となってしまったが、結果的に今までとは違う物件を担当することになり、印刷技術を中心に多くの知識を身に付けることができた。
- ・ アクアリウム事業は上半期に DM 営業を計画通り 2 回実施したが反応がなく、前年に

引合のあったお客様もクロージングには至らなかった。事業継続の可否等について営業部内で会議を行い、今後の展開について検討した。

- ・ 作業方法の把握・見直しを進め、作業者の技術格差を解消につなげることができた。今後も引き続き進めていく。
- ・ 熟練作業員からの内部研修を行い、ソフトの機能や作業手順について知識を習得することができた。今後も引き続き進めていく。
- ・ 生産管理課に1名の人員を増やし、人材の育成を行った。
- ・ 情報の共有や進捗の確認、外注加工物の選定を行い、作業効率の改善を図った。
- ・ 資材価格が高騰する中、付合せ印刷や資材の一括購入、価格の交渉を行い、経費削減を図った。
- ・ 新店舗開店による印刷枚数の増加に伴い、特にローラーの消耗が早くなったが、小規模な修理についてはメンテナンスのサイクルを変更して対応した。一方、電源部の大きな故障により印刷が止まるトラブルも発生した。
- ・ 断裁機のマニュアルが完成し、それを元に現在2名の育成を継続している。
- ・ 新たな機器の導入には至らず、新規採用職員2名が取り組むことのできる仕事を見極めるとともに、利用者の高齢化、障害の重度化に対応した機器の選定を継続している。
- ・ 国立国会図書館の書籍デジタル化事業に参入を検討したが、受注にあたって求められる事業規模が当初の想定を大きく超える見込みとなり、人員の確保と施設改修が困難であるため断念した。

2 縫製事業

- ・ 売上実績1億4,782万円、加工高実績5,812万円
- ・ 運送費については販売価格に反映させることができた。外注費等については引き続き交渉していく。
- ・ 主に転写作業について育成を行い、2名が転写作業の補助業務を行えるようになった。
- ・ 研修予定日と受注が重なり、外部研修と給食着関係の内部研修ができなかった。色帽の内部研修については予定通り行うことができ、各自の受け持っている工程以外の作業工程について学ぶことができた。
- ・ ロスが出やすい製品の作業や仕様の見直しを取引先に提案している。
- ・ 新規製品のマニュアル、既存製品のサンプル更新を行った。

3 福祉事業

- ・ 支援課会議において研修の報告や情報の共有、支援の質を高めるための意見交換などを行い、支援課職員としての役割の確認と支援技術の向上を図った。
- ・ 障害関連の法令等の研修を行い、見識を深めた。
- ・ 内部研修、外部研修へ積極的に参加をし、見識を広げ福祉の専門性を高めた。
- ・ 見学や実習の受け入れと障害者就職面接会に参加をし、利用者の確保や関係機関と

の連携を行った。

- ・ 声掛けや面談、業務量の調整、関係機関との連携を図り、継続利用ができるように努めた。
- ・ 新規福祉サービス事業の検討は行えなかったが、基本報酬（スコア方式）の増加に向け規程の整理等の対応を行った。
- ・ 看護師の健康相談、定期健康相談、感染症予防対策を行った。
- ・ 第42回全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）が千葉県で開催され、DTP部門に印刷部制作課から1名が参加をし、金賞を受賞した。

4 設備投資

(単位:円)

購入設備等	数量	単価	金額	備考
電子門止マシン	2台	2,447,500	4,895,000	
インターロックマシン	1台	176,000	176,000	
beat/active 更新 (ネットワークセキュリティ)	1式	224,950	224,950	(事業所間で按分)
電気配線工事(オンデマンド機移設)	1式	430,100	430,100	
ニッタベルト加工機	1台	104,500	104,500	

【売上高】

(単位:千円)

区分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印刷	310,083	302,922	102.4%
		290,525	106.7%
縫製	147,820	151,418	97.6%
		144,673	102.2%

【加工高】

(単位:千円)

区分	当期実績	当期計画	計画達成率
		前期実績	前期比
印刷	156,175	161,122	96.9%
		155,144	100.7%
縫製	58,122	55,673	104.4%
		51,902	112.0%

【貸金】

(単位:円)

区分	当期実績	前期実績	増減額	前期比
貸金(総額)	72,477,595	69,311,459	3,166,136	104.6%
貸金(平均額)	161,925	152,803	9,122	106.0%

【利用者数】

区分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	8,232 人	8,263 人	△31 人	99.6%
開所日数	241 日	240 日	1 日	100.4%
平均利用者数	34.2 人/日	34.4 人/日	△0.2 人/日	99.4%
平均利用率	85.4%	86.1%	△0.7 割	—

VI 地域活動支援センターコロニー 共同生活援助（グループホーム）

【利用者数】

名称	定員	計画	実績	バックアップ施設
さいなみほ～む	4 人	1 人	1.0 人	ワークサポート篠ノ井
うわのほ～む	4 人	3 人	2.0 人	はあてい若槻
グループホームせはらだ	4 人	4 人	3.7 人	ワークサポート篠ノ井

- ・ 世話人と世話人会議を行い、連携を取りながら利用者の支援をした。それにより利用者の情報を共有することができ、利用者が地域で安定して生活することができた。
- ・ うわのほ～む 2 号棟が利用者不在のため、（利用希望者もなし）2 号棟の廃止を検討した。

VII あいくる 相談支援事業所

【利用状況】

区分			当期実績	前期実績	増減	前期比	
延べ利用者数	計画相談支援	特定	サービス利用支援	103 人	98 人	5 人	105.1%
			モニタリング	275 人	285 人	△10 人	96.5%
	児童	特定	サービス利用支援	13 人	15 人	△2 人	86.7%
			モニタリング	23 人	18 人	5 人	127.8%
	地域相談支援 一般・地域移行支援			0 人	0 人	0 人	100.0%
障害支援区分認定調査			0 人	1 人	△1 人	皆減	

- ・ 相談支援専門員のスキルアップのため、研修へ積極的に参加した。
- ・ サービスの質を維持するため、相談支援事業の体制を検討した。

【設備投資】

(単位:円)

購入設備	数量	単価	金額	備考
beat/active 更新 (ネットワークセキュリティ)	一式	—	114,290	(事業所間で按分)
ネットワーク機器更新(L2/L3)	一式	—	283,030	(事業所間で按分)
電話機・ナースコール設備更新 及び Wi-Fi 設備設置	一式	—	630,928	(事業所間で按分)

Ⅷ すまいる 放課後等デイサービス事業所・障害児自立サポート事業所

- ・ 個別支援計画に沿った支援を実施した。
- ・ 利用希望者の受け入れにできる限り努めた。
- ・ 保護者面談・保護者会を実施し、ニーズの把握と保護者支援を行った。
- ・ 利用者、職員の感染や濃厚接触、併設施設のクラスターと新型コロナウイルスの影響は避けられなかったが、利用者のご理解を得ながら、事業の継続に努めた。

【放課後等デイサービス利用状況】

区 分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	2,701 人	2,526 人	175 人	106.9%
開所日数	248 日	244 日	4 日	101.6%
平均利用者数	10.9 人/日	10.4 人/日	0.5 人/日	104.8%
平均利用率	109.0%	104.0%	5.0 ㊦	—

【障害児自立サポート 利用状況】

区 分	当期実績	前期実績	増減	前期比
延べ利用者数	701 人	594 人	107 人	118.0%

【設備投資】

(単位:円)

購入設備	数 量	単 価	金 額	備 考
パソコン更新	2 台	1 ヶ月 3,531	24,717	(事業所間で按分) リース、7 ヶ月分
Beat/active 更新 (ネットワークセキュリティ)	一式	—	114,290	(事業所間で按分)
ネットワーク機器更新(L2/L3)	一式	—	283,030	(事業所間で按分)
電話機・ナースコール設備更 新及び Wi-Fi 設備設置	一式	—	630,928	(事業所間で按分)

Ⅺ ふれんど 障害児自立サポート事業所

【利用者数】

区 分	利用日数		登録者
	計 画	実 績	
障害児自立サポート	40 日	0 日	0 名

令和4年度 会議・行事及び研修会等経過報告

1 役員会等

(1)理事会

年月日	議 題 等	場 所
4.6.7	第1回理事会 議案第1号 令和3年度資金収支補正予算書(第4号) 議案第2号 令和3年度事業報告 議案第3号 令和3年度決算に係る計算書類及び財産目録 議案第4号 令和3年度の社会福祉充実残額 議案第5号 指定障害者支援施設ワークサポート篠ノ井運営規程の一部改正 議案第6号 指定障害者支援施設ハートフル五明運営規程の一部改正 議案第7号 はあてい若槻(指定生活介護事業)運営規程の一部改正 議案第8号 はあてい若槻(指定就労継続支援B型事業)運営規程の一部改正 議案第9号 指定就労継続支援A型事業長野福祉工場運営規程の一部改正 議案第10号 地域生活支援センターコロニー運営規程の一部改正 議案第11号 指定一般相談支援事業あいくる運営規程の一部改正 議案第12号 指定特定相談支援事業あいくる運営規程の一部改正 議案第13号 指定障害児相談支援事業あいくる運営規程の一部改正 議案第14号 障害児自立サポート事業すまいる運営規程の一部改正 議案第15号 指定放課後等デイサービス事業すまいる運営規程の一部改正 議案第16号 障害児自立サポート事業ふれんど運営規程の一部改正 議案第17号 令和4年度資金収支補正予算書(第1号) 議案第18号 令和4年度定時評議員会の招集	篠ノ井施設
4.9.15	第2回理事会 議案第19号 令和4年度資金収支補正予算書(第2号) 議案第20号 育児・介護休業等に関する規則の一部改正 議案第21号 嘱託職員及びパート職員就業規則の一部改正 議案第22号 篠ノ井施設及びはあてい若槻のパソコンのリース契約	篠ノ井施設
4.11.16	第3回理事会 報告第1号 令和4年度職務執行状況の報告(中間決算) 議案第23号 令和4年度第2回評議員会の招集	篠ノ井施設
5.1.26	第4回理事会 議案第24号 令和4年度資金収支補正予算書(第3号) 議案第25号 電話機・ナースコール設備更新及びWi-Fi設備設置工事契約 議案第26号 電子門止めミシンの購入契約	篠ノ井施設
5.3.13	第5回理事会 議案第27号 令和5年度事業計画書 議案第28号 令和5年度資金収支予算書 議案第29号 令和4年度資金収支補正予算書(第4号) 議案第30号 社会福祉法人ながのコロニー嘱託職員・パート職員就業規則の一部改正 議案第31号 社会福祉法人ながのコロニー給与規程の一部改正 議案第32号 地域生活支援センターコロニー運営規程の一部改正 議案第33号 篠ノ井施設及びはあてい若槻における食事提供業務委託契約 議案第34号 長野福祉工場建替え計画基本構想策定支援業務委託契約 議案第35号 事業所長等の選任 議案第36号 令和4年度第3回評議員会の招集	篠ノ井施設

(2)評議員会

年月日	議 題 等	場 所
4.6.24	第1回評議員会 報告第1号 令和3年度事業報告 議案第1号 令和3年度決算に係る計算書類及び財産目録	篠ノ井施設
4.11.24	第2回評議員会 報告第2号 令和4年度中間決算の報告	篠ノ井施設
5.3.22	第3回評議員会 報告第3号 令和5年度事業計画書及び令和5年度資金収支予算書の報告 報告第4号 事業所長等の選任の報告	ふれあい福祉センター

(3)監査会

年月日	内容等	場所
4.4.1	前年度期末における現金・手形及び現在高監査	篠ノ井施設 長野福祉工場
4.5.27	決算監査	篠ノ井施設
4.6.1	決算監査	長野福祉工場
4.11.8	中間監査	篠ノ井施設 長野福祉工場

2 法人内会議及び行事等

年月日	会議・行事等	場 所
定期開催	経営会議(毎月開催)	篠ノ井施設・長野福祉工場 (交互開催)
	施設運営会議(毎月開催)	篠ノ井施設
	安全衛生委員会(毎月開催)	長野福祉工場
	衛生委員会(毎月開催)	篠ノ井施設・はあてい若槻
	職員会議(毎月開催)	篠ノ井施設 はあてい若槻
	支援課会議(毎月開催)	長野福祉工場
	部課長会議(毎月開催)	長野福祉工場
	嘱託医による診察(月1回)	篠ノ井施設・はあてい若槻
	歯科口腔健診(年2回)	ハートフル五明
4.4.6	防火管理委員会	篠ノ井施設・若槻施設
4.4.19	はあてい若槻お花見食事会(利用者32名、職員13名)	はあてい若槻
4.4.24	ながのコロニー後援会 会計監査・総会	篠ノ井施設
4.5.10	ワークサポート篠ノ井春のグループ行楽(利用者62名)	ワークサポート篠ノ井
4.5.17	春の防災訓練	篠ノ井施設
4.5.18	春の防災訓練	若槻施設
4.6.8	はあてい若槻音楽療法	はあてい若槻
4.6.21	はあてい若槻夏至祭(利用者33名、職員12名)	はあてい若槻
4.6.22	はあてい若槻音楽療法	はあてい若槻
4.7.2	はあてい若槻土曜レクリエーション	飯山方面
4.7.5	入所利用者結核健診	篠ノ井施設
4.7.6	参議院議員通常選挙不在者投票	ワークサポート篠ノ井 ハートフル五明
4.7.23	第48回長野県障がい者技能競技大会(利用者1名、職員1名)	ポリテクセンター長野
4.8.1	納涼・七夕週間 ～5日(利用者104名)	篠ノ井施設
4.8.3	長野県知事選挙不在者投票	ワークサポート篠ノ井 ハートフル五明
4.8.17	特定給食施設等巡回指導	篠ノ井施設
4.8.23	新型コロナワクチン接種4回目(入所利用者)	篠ノ井施設
4.8.31	長野市実地指導監査	はあてい若槻
4.9.10	非常通報運用訓練	篠ノ井施設・はあてい若槻
4.9.15	虐待防止委員会	篠ノ井施設
4.10.12	秋の防災訓練	篠ノ井施設
4.10.13	第42回全国障害者技能競技大会長野県選手団結団式(利用者1名、職員1名)	長野保健福祉事務所
4.10.15	はあていフェスティバル(利用者20名、職員8名)	はあてい若槻
4.10.17	ハートフル五明秋の行楽「焼肉パーティー」(利用者24名) ※10/21と2回に分けて実施	篠ノ井施設
4.10.18	秋の防災訓練	さいなみほ～む グループホームせはらだ

年月日	会議・行事等	場 所
4.10.19	秋の防災訓練	若槻施設 うわのほ〜む
4.10.22	ゼンコロ版アビリンピック(利用者1名、職員2名)	オンライン
4.10.24	ハロウィンウィーク ～28日	篠ノ井施設
4.10.25	優生保護法全国集会	オンライン
4.11.4	第42回全国障害者技能競技大会 ～6日	千葉ポートアリーナ
4.11.10	東京コロニー大田福祉工場見学会参加(利用者1名、職員3名)	大田福祉工場
4.11.25	インフルエンザ予防接種(入所利用者・職員)	篠ノ井施設
	はあてい若槻利用者健康診断(希望者のみ)	長野福祉工場
	職員定期健康診断	長野福祉工場
4.12.13	電話機・ナースコール入替えのための業者選定に係るプレゼン(プロポーザル方式) ～15日	篠ノ井施設
4.12.14	はあてい若槻忘年会(利用者33名、職員11名)	はあてい若槻
4.12.19	長野市実地指導監査(ワークサポート篠ノ井・地域生活支援センターコロニー)	篠ノ井施設
4.12.20	新型コロナワクチン接種5回目(入所利用者)	篠ノ井施設
4.12.21	長野市実地指導監査(すまいる・法人本部)	篠ノ井施設
4.12.23	長野市実地指導監査(ハートフル五明・あいくる)	篠ノ井施設
5.1.11	利用者成人式(対象者1名:ワークサポート篠ノ井通所者)	篠ノ井施設
	利用者成人式(対象者1名:はあてい若槻通所者)	はあてい若槻
5.1.26	虐待防止委員会	篠ノ井施設
5.2.8	職員定期健康診断	篠ノ井施設
5.2.8	電話機・ナースコール設備の入替工事 ～3/31	篠ノ井施設
5.2.10	令和4年度指定障害者福祉サービス事業者等集団実地指導	長野市役所
5.2.22	利用者心電図検診	篠ノ井施設
5.3.13	人事審査会	篠ノ井施設
5.3.14	はあてい若槻音楽療法	はあてい若槻
5.3.23	ワークサポート篠ノ井出張スポーツ「ボッチャ」	篠ノ井施設
5.3.24	長野福祉工場建替え計画基本構想策定会議	長野福祉工場
5.3.25	ながのコロニー後援会 役員会	篠ノ井施設
5.3.28	ワークサポート篠ノ井行事「昼マックしよう」(利用者53名)	ワークサポート篠ノ井

3 研修会・講習会等

年月日	研修会・講習会・説明会名	場 所
4.5.2	新任相談支援専門員研修「だれでも研修会」2名	長野市役所
4.5.20	福祉経営セミナー 2名	オンライン
	ジャガットセミナー「製本加工の基礎知識」	オンライン
4.5.23	国会図書館デジタル化事業の体制づくりのための講習会	(福)東京コロニー
4.5.27	JDセミナー2022「いまあらためて障害者の権利保障を考える！」	オンライン
4.5.31	障がい者福祉サービス従事者新人研修 2名	オンライン
4.6.8	支援課研修 12名	長野福祉工場
4.6.15	人材育成・研修担当者向け 新人育成担当者研修 ～7/20(延べ2日間)	上田市真田中央公民館
	フォークリフト運転技能講習 ～23日(延べ4日間)	日本クレーン協会
4.6.27	長野県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者基礎研修～7/8(延べ4日間)	オンライン
4.6.29	家族・支援者養成基礎講座「講座 I 講話」3名	オンライン
	人権教育担当者研修会	オンライン
4.7.3	障害福祉サービスにおける栄養ケア・マネジメントの実務研修会	オンライン
4.7.7	VUCA時代に求められる「3つの仕事力」向上セミナー 2名	八十二別館
4.7.12	パワーハラスメント学習会 若槻施設職員 ※2日間に分けて計4回実施	はあてい若槻
	雇用管理責任者講習	ポリテクセンター長野
4.7.21	障害者虐待防止・権利擁護研修会	オンライン
4.7.22	福祉経営セミナー「福祉現場のハラスメント対策マニュアルについて」2名	オンライン
4.7.23	介護職員初任者研修 ～12/3(全16回)	ニチイ学館篠ノ井教室
4.7.27	障害福祉サービス事業所等における感染対策研修会	オンライン
4.8.9	長野市手をつなぐ育成会学習会「成年後見」	ふれあい福祉センター
	安全運転管理者講習会	JA長野総合研修所
4.8.10	人材育成・研修担当者向け OJTリーダー養成研修 ～9/1(延べ2日間)	千曲市総合会館
4.8.24	長野県経営協セミナー(前期)	ホテルメルパルク長野
	制作課DTP(組版)研修会 22名 ※3日に分けて実施	長野福祉工場
4.8.25	障害者虐待防止・権利擁護研修会 福祉工場利用者 ※同日に2回に分けて実施	長野福祉工場
4.8.26	障害者虐待防止・権利擁護研修会 若槻施設職員 ※同日に2回に分けて実施	はあてい若槻
4.9.2	事業主・公正採用選考人権啓発推進員研修会	ホクト文化ホール
4.9.12	看護力再開発研修会	長野県看護協会会館
4.9.15	ゼンコロスキルアップ研修 2名	オンライン

年月日	研修会・講習会・説明会名	場 所
4.9.16	BCP策定研修	オンライン
4.9.27	JD障害者権利条約プロジェクト学習会	オンライン
4.9.28	地域の教育力向上研修「子どもの不安をケアする」7名	オンライン
4.10	障害福祉サービス事業所等の管理者向け障がい者虐待防止・権利擁護研修	オンライン
4.10.11	相談支援専門員等スキルアップ研修 3名	長野市役所
4.10.17	メンタルヘルス研修 若槻施設職員 ※2日間に分けて計4回実施	若槻施設
4.10.18	介護労働者雇用管理責任者講習「労務管理の基礎知識・両立支援」	オンライン
	福祉職員生涯研修 チームリーダー課程 2名 ～19日(延べ2日間)	千曲市総合観光会館
4.10.19	看護力再開発研修会 ～21日(延べ3日間)	丸子中央病院
4.10.24	労務管理改善リーダー研修 ～11/11(延べ3日間)	長野県長野合同庁舎
4.10.26	差別解消・虐待防止研修会 篠ノ井施設職員 ※同日に2回に分けて実施	篠ノ井施設
	介護職員初任者研修 ～2/1(全16回)	ニチイ学館篠ノ井教室
4.11.8	看護力再開発研修会 ～17日(延べ4日間)	篠ノ井総合病院
	年金委員・健康保険委員合同研修会	ホクト文化ホール
4.11.10	福祉職員生涯研修 新任職員課程 ～12/15(延べ3日間)	ホクト文化ホール
4.11.11	インボイス制度研修会	オンライン
4.11.15	ワーカビリティ・ジャパン国際セミナー 10名	オンライン
4.11.16	地域づくり推進研修「支援を必要とする子どもたちへの対応」7名	オンライン
4.11.17	全国LD親の会公開フォーラム「発達障がいのある人の教育から就業への移行」6名	オンライン
	メンタルヘルス対策研修会	(株)長水建設会館
4.11.22	医療的ケア支援委員会「てんかんの基礎理解と生活への配慮」研修会 6名	オンライン
4.11.29	福祉職員生涯研修 中堅職員課程 2名 ～30日(延べ2日間)	長野県自治会館
	長野県児童発達管理責任者更新研修 ～12/9(延べ2日間)	オンライン
4.12.2	社会福祉施設長資格認定講習課程スクーリング～6日(延べ5日間)	ロフォス湘南
4.12.6	ゼンコロ発達障害者研修	オンライン
4.12.7	長野県サービス管理責任者更新研修 2名	オンライン
4.12.9	長野県サービス管理責任者更新研修	オンライン
4.12.12	施設等における新型コロナウイルス感染症への対応 3名	オンライン
4.12.16	農福連携推進研修会	オンライン
5.1.11	福岡塾アディクション「子どもの時期をどう支えるか」	にじいろキッズらいふ
5.1.12	長野県自立支援協議会療育部会研修会 「発達障害のある子どもたちへの支援」8名	オンライン

年月日	研修会・講習会・説明会名	場 所
5.1.17	雇用保険適用業務照合省略事業所事務担当者研修会	篠ノ井交流センター
5.1.19	発達支援ブラッシュアップ研修 8名 ～1/26 (延べ2日間)	オンライン
5.1.28	長野市男女共同参画センター企画講座	しなのき
5.1.30	(一社)福祉経営研究機構主催「社会福祉法人の経営力強化」	オンライン
5.2.6	ノーリフトケア コーディネーター養成講座 ～3/2(延べ3日間)	オンライン
5.2.9	長野県介護福祉士会主催研修「拘縮予防と改善のための基礎と実践」	オンライン
5.2.10	令和4年度第3回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市役所
5.2.13	全国経営者協議会主催「決算実務ポイント研修」	オンライン
5.3.15	ハラスメント防止研修会 篠ノ井施設職員 ※同日に2回に分けて実施	篠ノ井施設
5.2.20	障害福祉サービス事業所等における業務継続計画(BCP)策定研修	オンライン
5.2.21	長野県福祉人材確保・定着支援セミナー 2名	オンライン
5.2.22	長野県災福ネットセミナー	オンライン
	福祉就労強化事業「工賃向上計画セミナー(Ⅱ)」	オンライン
5.3.14	長野県経営協セミナー(後期) 2名	ホテル信濃路

4 福祉現場実習・研修受入状況

年月日	実習・研修名	場 所
6～9月	稲荷山養護学校更級分教室校外学習(延べ2日間)6/21、9/21	篠ノ井施設
4.6.7	現場実習1名(長野養護学校高等部2年生)～15日(延べ7日間)	はあてい若槻
4.6.9	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部3年生)～10日(延べ2日間)	ワークサポート篠ノ井
4.6.15	インターンシップ1名(豊野高等専修学校専門課程2年生)～17日(延べ3日間)	長野福祉工場
4.6.21	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部3年生)～29日(延べ7日間)	ワークサポート篠ノ井
4.7.1	保育士養成課程における施設実習～15日(延べ11日間)	ハートフル五明
4.7.4	現場実習1名(信大附属特別支援学校高等部2年生)～8日(延べ5日間)	はあてい若槻
4.7.6	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部2年生)～7日(延べ2日間)	ワークサポート篠ノ井
4.7.28	職場体験学習受入れ1名(長野東高等学校3年生)～8/5(延べ7日間)	はあてい若槻
4.10.18	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部3年生)～19日(延べ2日間)	ワークサポート篠ノ井
4.10.25	現場実習1名(若槻養護学校高等部3年生)～27日(延べ3日間)	長野福祉工場
4.10.27	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部3年生)～11/4(延べ6日間)	ワークサポート篠ノ井
4.11.8	現場実習1名(長野養護学校高等部3年生)～16日(延べ7日間)	はあてい若槻
4.11.14	現場実習1名(長野養護学校高等部2年生)～18日(延べ5日間)	はあてい若槻
4.11.15	産業現場等における実習1名(稲荷山養護学校高等部3年生)	ワークサポート篠ノ井
4.11.21	現場実習1名(長野養護学校高等部2年生)～11日(延べ4日間)	はあてい若槻
4.11.28	現場実習1名(信大附属特別支援学校高等部3年生)～12/7(延べ8日間)	はあてい若槻
4.12.5	現場実習1名(信大附属特別支援学校高等部3年生)～9日(延べ5日間)	はあてい若槻
4.12.13	現場実習1名(岡学園2年生)	長野福祉工場
5.1.26	現場実習1名(信大附属特別支援学校高等部3年生)～27日(延べ2日間)	はあてい若槻
5.2.8	現場実習1名(信大附属特別支援学校高等部3年生)～9日(延べ2日間)	はあてい若槻

5 視察・見学受入状況

年月日	団体名等	人数	場 所
4.5.19	JRAファシリティーズ	3	長野福祉工場 ワークサポート篠ノ井
4.6.9	長野養護学校高等部1年生 生徒、先生	9	はあてい若槻
4.6.10	長野養護学校高等部1年生 生徒、先生	9	はあてい若槻
4.6.14	若槻養護学校高等部1年生 生徒、先生	10	長野福祉工場
4.6.27	エーシーエ設計	5	篠ノ井施設
4.6.28	JRAファシリティーズ	3	長野福祉工場 ワークサポート篠ノ井
4.7.13	稲荷山養護学校高等部 生徒、保護者、先生	3	ワークサポート篠ノ井
4.7.14	信濃町議会広報調査特別委員会	6	長野福祉工場
4.7.27	信州大学教育学部附属特別支援学校 保護者、先生	3	はあてい若槻
4.9.22	酒井医療	1	ハートフル五明
5.2.20	稲荷山養護学校高等部 生徒、保護者、先生	5	ワークサポート篠ノ井